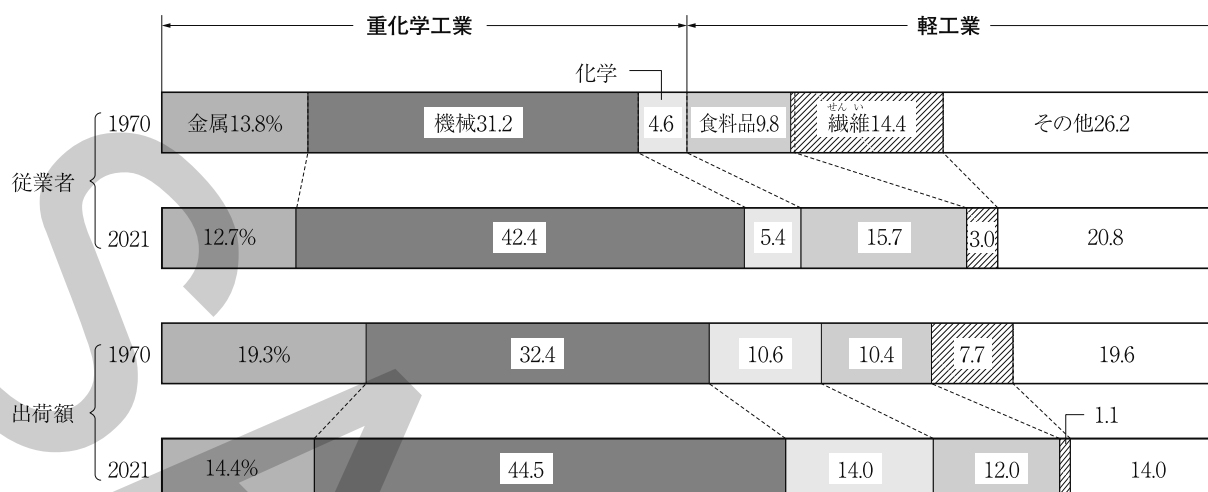


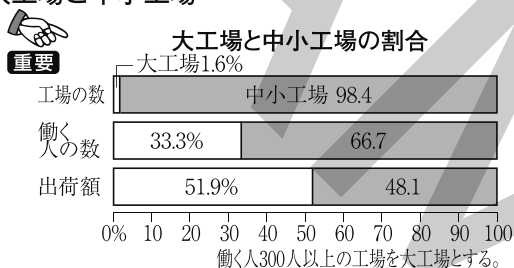
2 日本の工業

①日本の工業の特色

産業別構成



大工場と中小工場



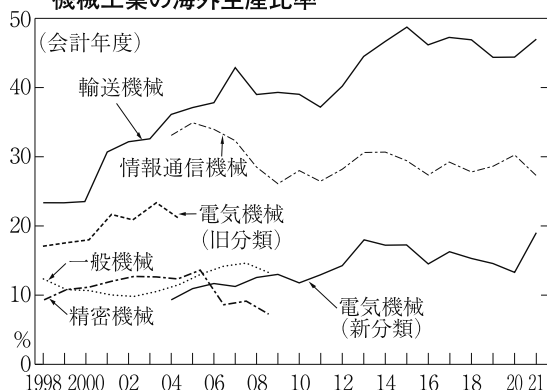
大工場と中小工場

大工場は、設備が整っており、1人あたりの生産額や賃金が高いのが特徴です。

中小工場は、大工場に比べて資金が少なく1人あたりの生産額や賃金が低いことが多くなっています。しかし、中小工場には、高い技術をもつ工場がたくさんあります。

産業の空洞化

機械工業の海外生産比率



産業分類改訂に伴い、電気機械から情報通信機械が分離独立。

産業の空洞化

おもな産業の海外進出にともなって、国内の産業がおとろえていくことを産業の空洞化といいます。

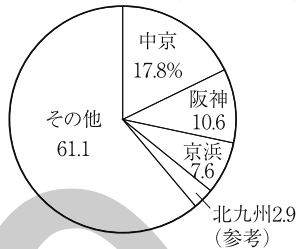
日本では、1980年代後半に、円高や貿易摩擦によって自動車やテレビなど機械工業製品の海外現地生産がさかんになり、産業の空洞化が問題となりました。

現在でも、海外生産の比率が高まる傾向にあります。

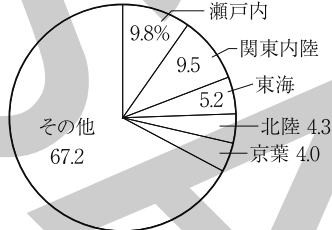
②おもな工業地帯・工業地域



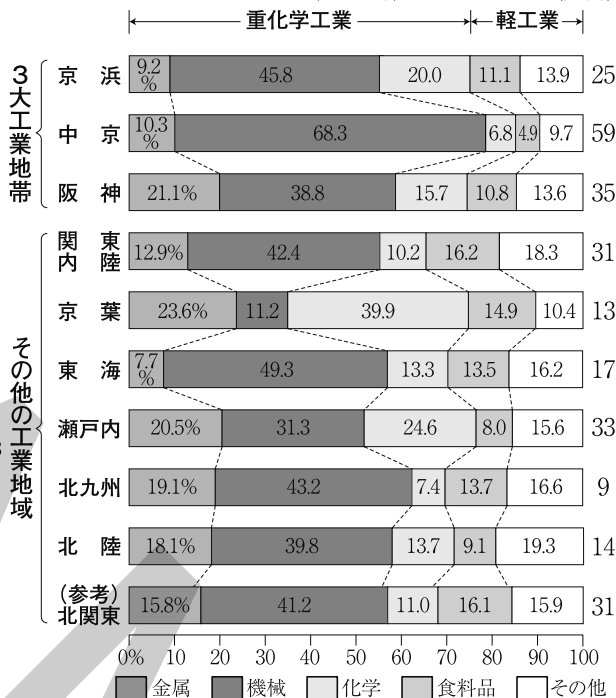
3大工業地帯の工業製品出荷額（全国：330兆円）



おもな工業地域の工業製品出荷額割合



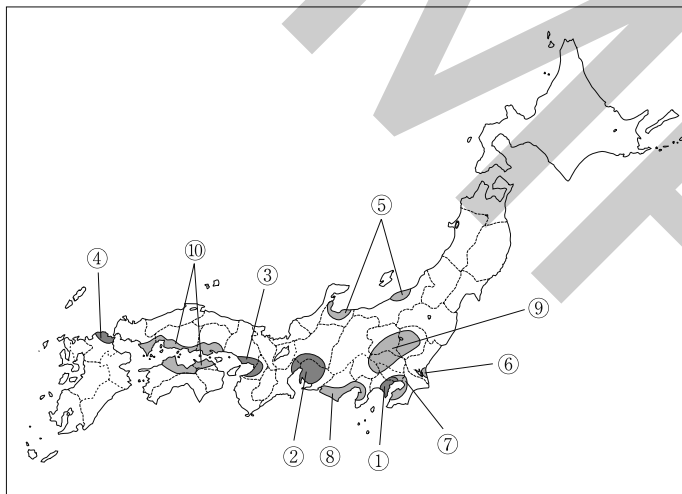
おもな工業地帯・地域の工業製品出荷額・割合
(全工場) (兆円)



中京工業地帯では、自動車工業をはじめとする機械工業がさかん。

阪神工業地帯では、鉄鋼業など金属工業がさかん。

京葉工業地域では、化学工業がさかん。



- ①京浜工業地帯
- ②中京工業地帯
- ③阪神工業地帯
- ④北九州工業地帯(工業地域)
- ⑤北陸工業地域
- ⑥鹿島臨海工業地域
- ⑦京葉工業地域
- ⑧東海工業地域
- ⑨関東内陸工業地域
- ⑩瀬戸内工業地域

京浜工業地帯…第二次世界大戦後から近年まで日本最大の工業地帯でした。印刷業などがさかんです。

中京工業地帯…日本最大の工業地帯です。日本最大の自動車工業都市である豊田などが含まれます。

阪神工業地帯…第二次世界大戦前は日本最大の工業地帯でした。中小工場が多いのが特徴です。

北九州工業地帯(工業地域)…八幡製鉄所の建設などにより発展しました。今では工業地帯としての地位が低下しています。

北陸工業地域…化学工業や金属工業がさかんです。伝統工業も古くから発達しました。

鹿島臨海工業地域…掘り込み港がつくられ、そこを中心に製鉄所や石油化学コンビナートが広がっています。

京葉工業地域…市原を中心に石油化学コンビナートが広がっています。千葉や君津には製鉄所があります。

東海工業地域…浜松ではオートバイや楽器の生産、富士では紙・パルプ工業がさかんです。

関東内陸工業地域…機械工業の割合が高く、中でも自動車や電気機械の製造がさかんです。

瀬戸内工業地域…倉敷や周南には石油化学コンビナートが広がっています。鉄鋼業や造船業などもさかんです。

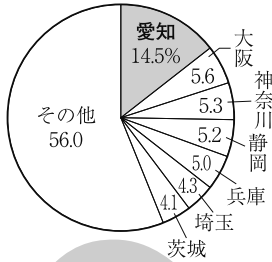
③都道府県の工業出荷額(2021)

都道府県別工業出荷額割合



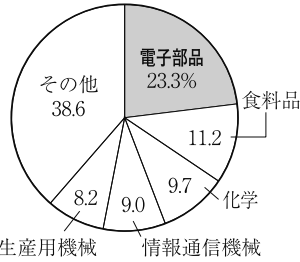
重要

北海道(61293億円)



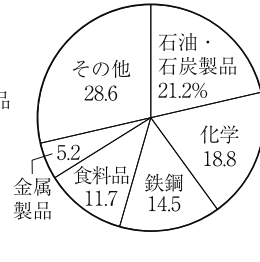
食料品工業がさかん。

山形県(30239億円)



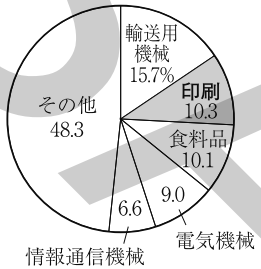
東北地方では電子工業がさかん。

千葉県(130968億円)



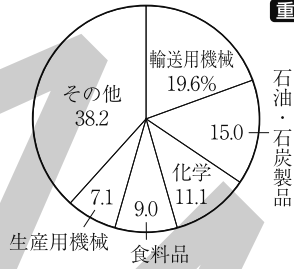
重要

東京都(76227億円)



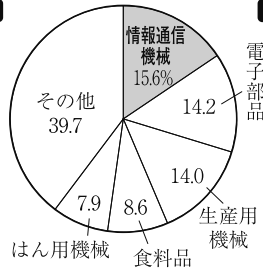
情報が集まる東京では印刷業がさかん。

神奈川県(173752億円)



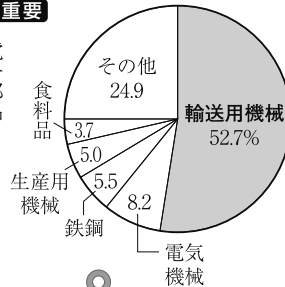
重要

長野県(66464億円)



重要

愛知県(478946億円)



愛知には、最大の自動車工業都市の豊田が位置する。

産業別出荷額

食料品		
順位	都道府県	出荷額(億円)
1	北海道	22695
2	埼玉県	20277
3	愛知県	17890
4	兵庫県	17270
5	神奈川県	15610
全国		299348

パルプ・紙・紙加工品		
順位	都道府県	出荷額(億円)
1	静岡県	8608
2	愛媛県	5475
3	埼玉県	5087
4	愛知県	3867
5	大阪府	3418
全国		72144

印刷・同関連業		
順位	都道府県	出荷額(億円)
1	東京都	7846
2	埼玉県	7350
3	大阪府	4477
4	愛知県	2376
5	福岡県	1908
全国		48555

静岡県の富士・富士宮、北海道の苫小牧でさかん。

東京、大阪、愛知など大都市圏が上位。

鉄鋼業		
順位	都道府県	出荷額(億円)
1	愛知県	26364
2	兵庫県	21569
3	千葉県	19054
4	大阪府	15429
5	広島県	13930
全国		197188

輸送用機械器具		
順位	都道府県	出荷額(億円)
1	愛知県	252306
2	静岡県	40873
3	神奈川県	34067
4	広島県	30531
5	福岡県	27042
全国		631198

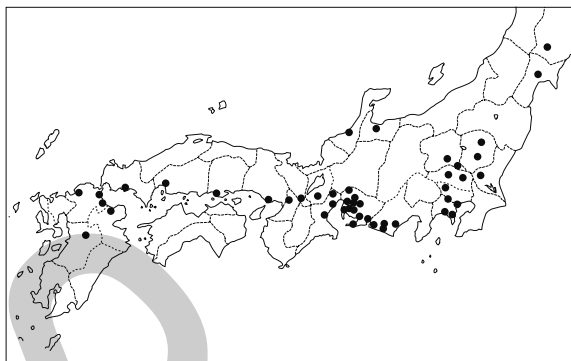
情報通信機械器具		
順位	都道府県	出荷額(億円)
1	長野県	10363
2	神奈川県	7372
3	埼玉県	6072
4	東京都	5017
5	兵庫県	4078
全国		61345

④工場の分布

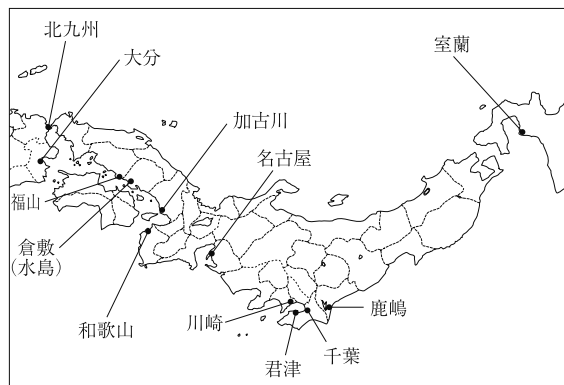


おもな自動車工場所在地（2023年5月1日現在）

重要



おもな鉄鋼工場所在地（2023年7月現在）

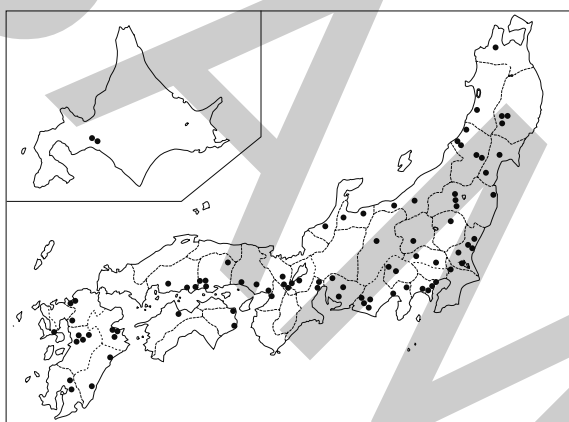


原料の輸入や製品の輸出に便利な海岸沿いに分布。



おもな半導体工場の所在地（2023年）

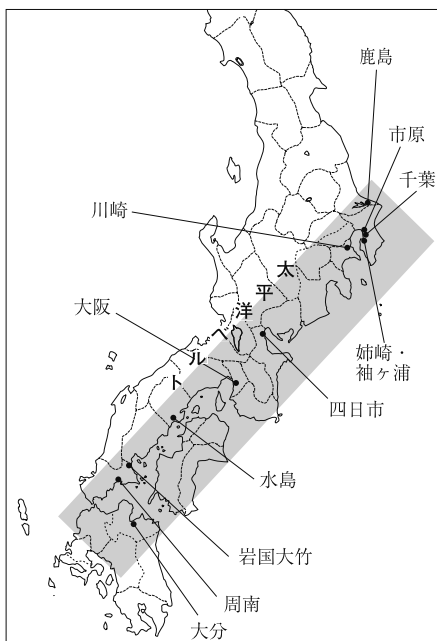
重要



半導体工場

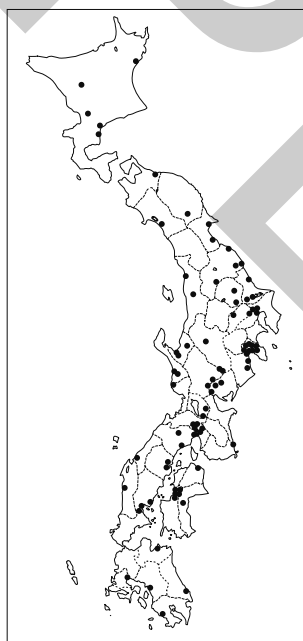
東北地方の東北自動車道沿いに半導体の工場が進出したことから、東北地方はシリコンロードと呼ばれてきました。九州地方にも空港付近などに半導体の工場が集中したため、九州地方は、シリコンアイランドと呼ばれてきました。

おもな石油化学コンビナート所在地
（2023年7月現在）

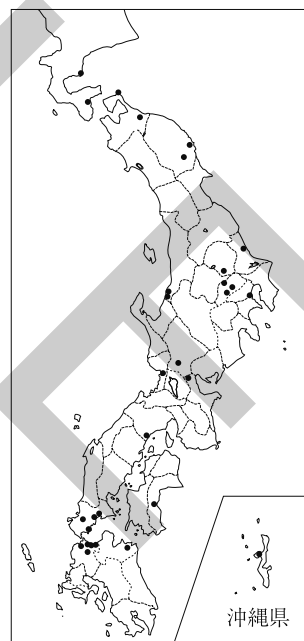


原油の輸入に便利な海岸沿いに分布。

おもな製紙工場所在地
（2024年4月現在）



おもなセメント工場所在地
（2023年4月1日現在）

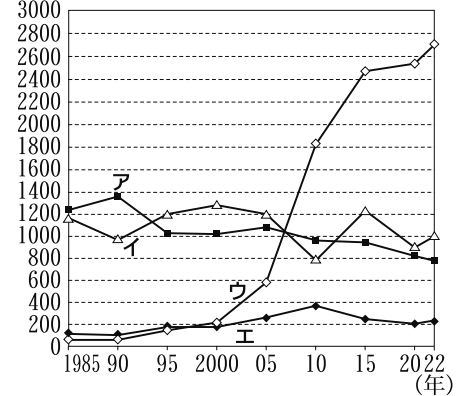


4 | 工業

- (1) 次の文は、中華人民共和国(中国)の自動車生産台数の変化を説明したものです。この変化を示すものを右のグラフ中のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

中華人民共和国の自動車生産台数は、1990年ごろから増加しはじめ、2022年には2005年の約4倍になっています。

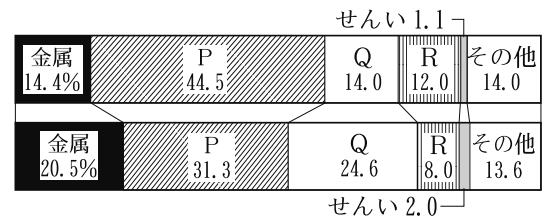
中国、ブラジル、アメリカ、日本の
(万台)自動車生産台数の変化



- (2) 右のグラフは、全国と瀬戸内工業地域の工業出荷額の総額と内訳を表しています。グラフ中のP, Q, Rにあてはまる組み合わせとして最も適当なものを、次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア P=機械 Q=化学 R=食料品
イ P=機械 Q=食料品 R=化学
ウ P=化学 Q=機械 R=食料品
エ P=化学 Q=食料品 R=機械

全国
330 兆円
瀬戸内
工業地域
33 兆円



- (3) 右の地図Ⅰ・Ⅱと表を見て、次の問いに答えなさい。

- ① 地図Ⅰ中の で示した地域を中心として、沿岸部に連続して立地している臨海工業地域は何とよばれていますか。6字で答えなさい。

また、表中のA～Dの工業地帯(工業地域)のうち、地図Ⅰ中に※で示した工業地帯(工業地域)にあてはまるものを1つ選び、記号で答えなさい。

[] []

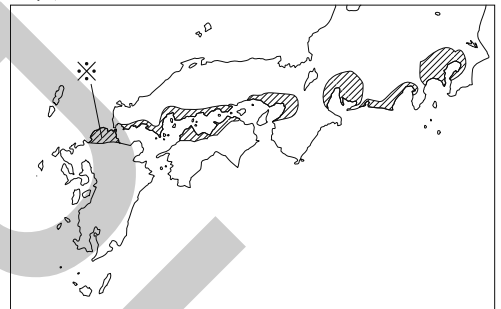
- ② 地図Ⅱ中のXは福岡県の代表的な都市、Yはある資源の産地であった地域を示しています。X・Yについて述べた次の文章中の(a), (b)のそれぞれにあてはまる語句の組み合わせとして最も適当なものをあとから1つ選び、記号で答えなさい。

Yの地域では古くから(a)が採掘され、これを背景としてXの都市の工業が発達しました。Xの都市では、1901年に官営の工場である(b)がつけられました。

- ア a=石炭 b=八幡製鉄所 イ a=鉄鉱石 b=八幡製鉄所
ウ a=石炭 b=福岡製糸場 エ a=鉄鉱石 b=福岡製糸場

[]

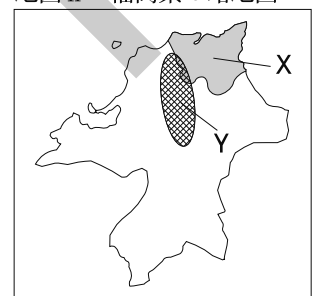
地図Ⅰ



おもな工業地帯(工業地域)の工業製品
出荷額(単位 十億円)

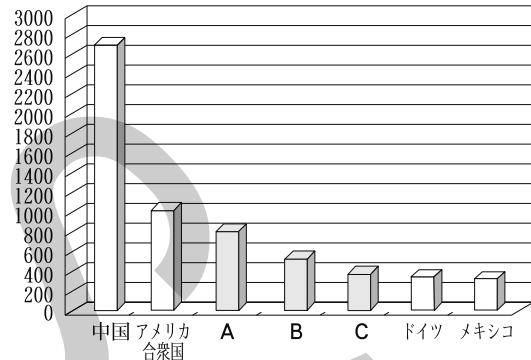
おもな工業地帯 (工業地域)	工業製品出荷額	
	1980年	2021年
A	25102	58929
B	37613	24998
C	30263	35108
D	5834	9445
全 国	214700	330220

地図Ⅱ 福岡県の略地図

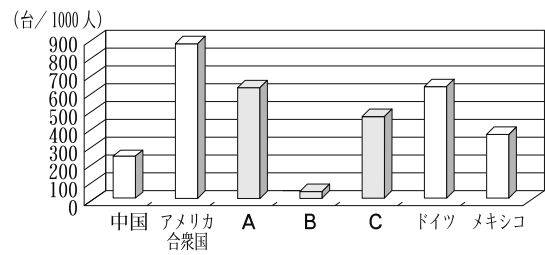


□(7) 次のグラフⅠは世界の自動車生産台数の上位国を、グラフⅡはそれらの国々の人口1000人あたりの自動車保有台数を示したものです。グラフ中のA～Cにあてはまる国の組み合わせとして最も適当なものをあとから1つ選び、記号で答えなさい。

(万台) グラフⅠ 世界の自動車生産台数



グラフⅡ 人口 1000 人あたりの自動車保有台数

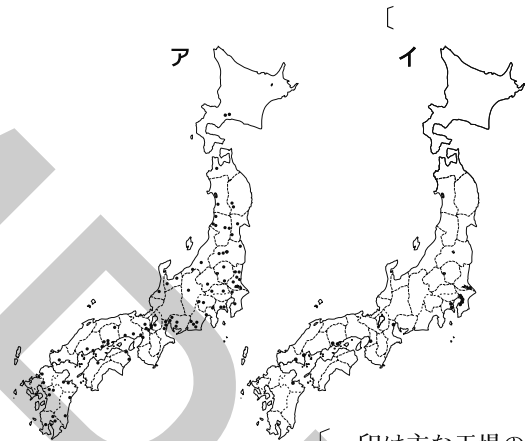


- ア A=日本 B=インド C=大韓民国(韓国)
 イ A=日本 B=大韓民国(韓国) C=インド
 ウ A=インド B=日本 C=大韓民国(韓国)
 エ A=インド B=大韓民国(韓国) C=日本

□(8) 右の略地図のア、イは、I C工場、石油化学工場のいずれかの分布を表しています。石油化学工場の分布を表しているものはどちらですか、記号で答えなさい。また、そう判断した理由を、「原油」という語句を用いて書きなさい。

[]

[]



〔・印は主な工場の位置を示している。〕

□(9) 次のグラフは、1960年と2021年における日本の工業別の出荷額割合を表したものです。グラフ中のA～Cには、それぞれ機械、せんい、化学のいずれかがあてはまります。A～Cのそれぞれにあてはまる工業の組み合わせとして最も適当なものをあとから1つ選び、記号で答えなさい。

	金属	A	B	食料品	C	その他
1960 年	18.8%	25.8	11.1	13.1	12.3	18.9
2021 年	14.4%	44.5		14.0	12.0	14.0

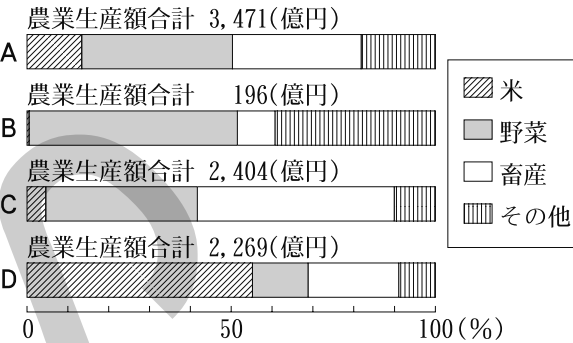
1.1

- ア A=化学 B=機械 C=せんい
 イ A=機械 B=化学 C=せんい
 ウ A=化学 B=せんい C=機械
 エ A=機械 B=せんい C=化学

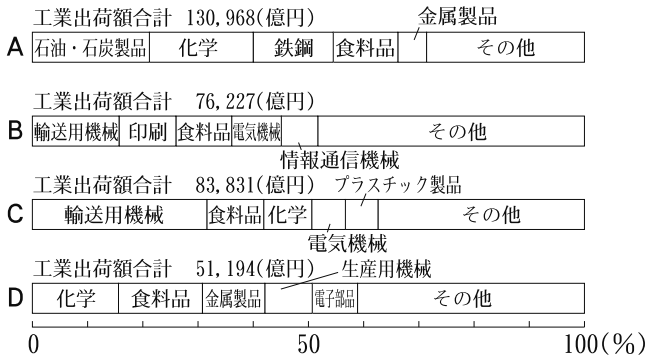
[]

□(10) 資料Ⅰと資料ⅡのA～Dは、群馬県、千葉県、東京都、新潟県のいずれかです。新潟県にあてはまるものを1つ選び、記号で答えなさい。また、新潟県の工業は、ほかの都県と比べてどのような特色がありますか。簡潔に答えなさい。

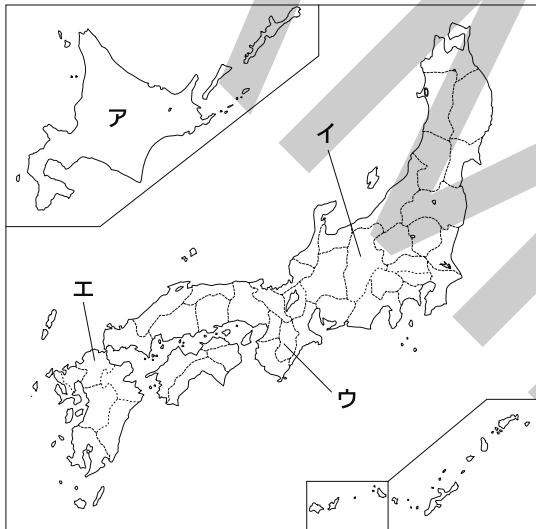
資料Ⅰ 農業生産額にしめる米、野菜、畜産の割合



資料Ⅱ 工業出荷額にしめる主要工業の割合



□(11) 次の表は、略地図中のア～エの各都道府県の第一次産業就業者割合、鉄鋼業製造品出荷額、スキー場の数を示したものです。表中のBにあてはまる都道府県を地図中のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。また、その都道府県の名を答えなさい。



都道府県	第一次産業 就業者割合 (%)	鉄鋼業製造品 出荷額 (億円)	スキー場 (か所)
A	7.7	440	57
B	2.1	10492	0
C	2.0	412	0
D	4.2	4801	22

□(12) 右のグラフのA～Eは、それぞれ、日本、ロシア、中華人民共和国(中国)、インドのいずれかの鉄鋼(粗鋼)生産高の推移を示したものです。中国の鉄鋼(粗鋼)生産高の推移を示したものはどれですか。1つ選び、記号で答えなさい。

主な国の鉄鋼(粗鋼)生産高の推移

